

## 研究課題

「造血器悪性疾患の同種造血幹細胞移植後再発に対する救援療法としての臍帯血移植の治療成績に関する後方視的研究」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2010年12月から2020年12月までの期間に、杏林大学医学部附属病院にて、同種造血幹細胞移植を受けたが再発し、2回目の同種移植として臍帯血移植として施行した患者さんを対象とします。

### 2. 研究目的・方法

造血器悪性疾患に対して同種造血幹細胞移植を受けたにもかかわらず、その後原疾患が再発した場合の予後は一般的には不良です。これに対して、完治を望みうる治療として再度の造血幹細胞移植があります。再度の移植においては、迅速な移植が必要であることから、臍帯血移植がしばしば用いられます。本研究では、当施設において、移植後に原病が再発した場合の救援療法として、再度の造血幹細胞移植を臍帯血移植で行った患者さんの治療成績を後方視的に解析し、その有用性を検証します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録から、年齢、性別、診断、初回移植に関する情報、初回移植後再発に関する情報、再移植に関する情報、その後の転帰に関する情報を抽出して、全生存率、無病生存率の解析に用います。新たな人体試料の採取はありません。

### 4. 外部への試料・情報の提供

研究結果は、学会や学術誌に公表されることがあります。その際、個人情報は匿名化された上で厳重に管理され、個人が特定される情報は公開致しません。対応表は、個人情報管理担当者が厳重に保管・管理致します。

### 5. 研究組織

研究代表者：血液内科学 教授 高山信之

研究責任者：血液内科学 教授 高山信之

研究事務局：血液内科学 教授 高山信之

分担研究者：血液内科学 准教授 佐藤範英

分担研究者：血液内科 任期制助教 小林誠

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

杏林大学医学部血液内科学 高山信之

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2

TEL 0422-47-5511 内線 5827

FAX 0422-44-0633

E-mail: [ntakayam@ks.kyorin-u.ac.jp](mailto:ntakayam@ks.kyorin-u.ac.jp)